

令和 7 年度主要事業のポイント

令和6年12月

尼崎市

1. 令和7年度に重点的に取り組む項目

- 重点項目1 子ども・子育てに係る支援と環境の充実
- 重点項目2 良好な住環境形成とエリアブランディングの推進
- 重点項目3 時代の変化に対応した産業イノベーションの推進
- 重点項目4 多文化共生社会の実現に向けた取組
- 重点項目5 市民サービスの向上と業務効率化に向けた共創DXの推進

2. 主要事業の調整状況

① 各局室から要求のあった主要事業（90件）の調整結果

区 分	件 数	備 考
実 施	73 件	事業内容、積算内容を精査し、実施するもの
一 部 実 施	8 件	要求の一部を実施するもの
調 整 中	5 件	令和7年度の実施に向け、内容を調整中のもの
継 続 検 討	3 件	引き続き事業の可否等について検討するもの
実 施 見 送 り	1 件	適時性・優先度、的確性・有効性の観点から現段階では実施しないもの

② 事業費

- 新たに必要な事業費：約 **6.0** 億円（うち一般財源 約 **2.6** 億円）
- 事業見直しや市債発行抑制に伴う公債費の低減による歳出減・歳入増：約 **2.1** 億円

③ 市民意見公募手続（パブリックコメント）の実施

- 令和6年12月18日（水）～令和7年1月7日（火）

3. 重点的に取り組む主な事業

重点項目01 子ども・子育てに係る支援と環境の充実

子育てに係る家計・ゆとり・安心のサポートの取組強化

こども医療費助成の更なる拡充	- 医療費助成の対象を18歳まで拡充 - 小学校1年生～中学校3年生の一部自己負担額を軽減	調整中	No.27
妊婦健診の費用助成の拡充	超音波検査費用助成の回数を拡充（6回→14回）	39.9 百万円	No.28
訪問型病児保育サービスの導入	- 自宅まで保育者が訪問する訪問型病児保育サービスを導入 - 利用者と市が1回分の料金を含む月会費を負担し合う「共済型」	5.7 百万円	No.31
学校長期休業期間中の児童ホーム等への昼食配送	- 希望する児童に対して昼食用弁当を配送 - 保護者が弁当注文・代金決済を行うオンラインサービスを導入	0.5 百万円	No.32

個々の状況に応じた最適な学びの保障

学校における多言語対応の充実	1人1台端末へ通訳アプリを導入し、授業で活用 - 携帯型通訳機器を各学校に配備し、児童生徒同士や保護者との円滑なコミュニケーションを推進 - 多文化共生支援員の増員	8.8 百万円	No.9
学びの多様化学校の設置に向けた準備	令和8年4月開校に向けた準備を進める（入・転学の準備や校舎の工事、備品等の整備など）	調整中	No.18

3. 重点的に取り組む主な事業

重点項目02 良好な住環境形成とエリアブランディングの推進

安全かつ快適に住み続けられる住環境の実現

受動喫煙対策等の強化	- 路上喫煙禁止区域での喫煙マナー向上 - 過料徴収の実施	4.0 百万円	No.51
専門家と連携した相続登記の促進	空き家の所有者調査から相続登記まで専門家と連携し取組を推進	2.4 百万円	No.72
身近な公園の機能分担の取組	- ドッグランの試験的設置 - 公園づくりアドバイザー派遣	2.7 百万円	No.75
AIオンデマンド型交通実証運行の実施	路線バスを補完する新たな交通サービスの実証運行を実施	2.0 百万円	No.76

重点項目03 時代の変化に対応した産業イノベーションの推進

地域経済の成長へつながる企業立地とイノベーション創出支援

イノベーション創出支援の取組	- 共同研究促進等によるオープンイノベーションの創出支援 - スタートアップ企業等の成長支援 - 企業の経営課題の解決支援	12.2 百万円	No.57
重点分野の企業誘致と投資活動の促進支援	企業投資活動促進制度の見直し	－ 百万円	No.58

3. 重点的に取り組む主な事業

重点項目04 多文化共生社会の実現に向けた取組

働きやすい環境の整備

外国人雇用に向けた雇用・就労支援の取組	- 外国人留学生向け合同企業説明会の実施 - 外国人留学生向けインターンシップの実施	6.9 百万円	No.61,62
外国人材を雇用する中小企業への支援強化	- 外国人材のスキルアップに取り組む中小企業への支援強化 - 企業向け特設相談窓口の設置	3.0 百万円	No.63

暮らしやすい環境の整備

外国籍住民の相談機能の充実・多言語化	- 外国人総合相談窓口の機能強化 - 行政窓口の多言語化（通訳タブレット配置窓口の増） - 家庭ごみべんりちょう・ごみ分別アプリの多言語化 - 市公式ホームページのやさしい日本語対応 - コールセンターの多言語対応	6.4 百万円	No.7,8,69,77,78
災害時に向けた環境整備	防災情報（避難誘導板、ハザードマップ）の多言語化	8.2 百万円	No.55,56

学び・育む環境の整備

(再掲) 学校における多言語対応の充実	1人1台端末へ通訳アプリを導入し、授業で活用 - 携帯型通訳機器を各学校に配備し、児童生徒同士や保護者との円滑なコミュニケーションを推進 - 多文化共生支援員の増員	8.8 百万円	No.9
給食献立の多言語対応	食物アレルギー対応等に関する情報を翻訳	4.2 百万円	No.13

3. 重点的に取り組む主な事業

重点項目05 市民サービスの向上と業務効率化に向けた共創DXの推進

『あまがさき共創DXプラン』の推進

子ども支援におけるデジタル化の推進	- 子ども支援にあたる専門職の支援環境を整備（業務支援システムを搭載したタブレットを新たに配備） - 虐待の未然防止に向けた支援の充実	19.0 百万円	No.37
内部業務効率化	- 生成AIの導入 - AI-OCRを推進（紙資料からシステムへの転記作業の効率化）	4.4 百万円	No.82,83
データ利活用の推進	- 市の保有するデータ、分析結果の見える化（BIツールの導入） - データ利活用のガイドライン作成、職員研修の実施	8.1 百万円	No.84,85
セキュリティ対策の徹底	ファイル自動暗号化システムの導入	20.5 百万円	No.86

